



▶ Photo 埼玉県商工会青年部連合会



役員一同



## 未来への挑戦

埼玉県商工会連合会 会長 三村 喜宏

青年部の皆様には、日頃から県連合会の事業運営、並びに商工会の地域振興事業・社会福祉活動などにおいて、大きな役割を果たされており、ご支援ご協力に対して厚くお礼申し上げます。

ご周知のとおり、昨年は6月から7月に発生した台風7号及び梅雨前線等の影響による集中豪雨により、岐阜県・岡山県・広島県・愛媛県などに甚大な被害がもたらされました。また9月に入っての台風21号や24号、それに伴う強風被害、さらには北海道胆振東部地震も発生するなど多くの災害に見舞われた年になりました。被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願って止みません。

さて、我が国の景気は、企業収益と雇用情勢の継続的な改善が続く中、各種政策の効果もあって緩やかに回復していると言われています。

しかしながら、商工会地域においては、少子高齢化や労働人口の減少などにより、厳しい経営環境におかれています。

こうした中、地域経済の再生を通じて本県の経済成長を確固たるものとするため、商工会は組織一丸となり、地域経済を索引する中小企業・小規事業者の持続的発展を支援する必要があります。

国・県等では、小規模基本法の制定及び小規模支援法の改正を契機として、各種施策の拡大が図られており、販路開拓や商品開発、事業承継、生産性向上による働き方改革の実現への取り組みなど、経営者の抱える経営課題の解消に向けて支援強化が図られています。

本連合会としまして、商工会の皆様と力をあわせ、「はじめよう！未来への挑戦」のテーマをもとに、県や市町村等の関係機関と緊密に連携を図り、積極的かつきめ細かな経営支援を行ってまいります。

結びに、県青連並びに各商工会及び青年部の益々のご発展と皆様方のご健勝、ご繁栄を心からご祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



## 「感謝」

埼玉県商工会青年部連合会 第24代会長 市川 剛士

県内青年部員の皆様には日頃より県青連事業に多大なるご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。また、日々家業発展のため、各地域のために商工会青年部活動に熱

心に取り組んでいる県内青年部員の仲間達へ改めて敬意を表したいと思います。そして、この2年間ほど青年部員との繋がり、仲間意識を色濃く感じたことはありませんでした。県内部員の皆様、各単会部長の皆様、県青連役員の皆様、事務局の皆様、地元越生町商工会のみんな…言葉では言い尽くせないほど感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

商工会青年部は全青連会長でも県青連会長でもブロック長でも、あくまでも所属は単会であり、そこからの出向制度を取っている組織です。日本全国どんな商工会地域でも、主役は部員であり、その部員たちをまとめ、リードしながら地域振興と事業発展(部員資質向上)を行っていくのは部長をはじめとする単会です。よって、埼玉県青連では、この2年間どのようにしたら単会が、部員達が輝けるのかを常に考えてきました。特に今年度行った新事業である「埼玉県青連災害マニュアルの作成」は、県内で甚大な災害が起こった際に被災した部員が事業を継続していくために、「埼玉県との意見交換会」は、管轄である埼玉県産業労働政策課との相互理解を深め、青年部の実情や小規模企業の実情をしっかりと伝えていくために行いました。

結びになりますが、来年度より就任される新部長の皆様、今は不安が多いと思いますが「自分がやらなきゃ誰がやる!」という覚悟で、決して自分のためでなく、地域のため、部員のためにという気持ちを忘れず、1歩ずつ踏み出していってください。心より皆様のご活躍を祈念しております。



# 平成30年度 事業報告

## 主 張 大 会

### 仲間と一緒に戦った主張大会

伊奈町商工会青年部 荻野 聡



こんなにも人に感謝した一年はありません。

文章構成や練習は連日連夜になる時でも、多くの仲間が来てくれて色々アドバイスをくれました。この時に仲間の存在の大きさに気付かされました。そして、関東大会、全国大会へと進むと支えてくれる仲間が増えていき、大勢の人の想いを抱えていくうちに「自分の為」から「皆の為に勝ちたい」に変わっていききました。

そして、全国大会出場。結果は最優秀賞とはいきませんでした。終わった後に「全国大会に連れて来てくれてありがとう」と皆に言われました。いや、連れて来て貰ったのは私なのです。この経験は今後の青年部活動と私の人生の大きな糧となると思います。本当に有り難う御座いました。

## 野 球 大 会

### 悪天候を乗り越えて

伊奈町商工会青年部 部長 湊 洋久

皆さんこんにちは。伊奈町商工会青年部部長の湊 洋久です。

関東野球大会当日は、朝から雨が降りしきる中での試合となり伊奈町は2回戦から登場。栃木県氏家商工会青年部と対決し8-7で接戦を制しましたが、その直後に雨天中止の号令により大会が終了。伊奈町を含むベスト4がすべて優勝という結

果でした。悪天候の中集まり、頑張ってくれた部員には感謝の言葉しかありません。こうした困難な状況を乗り越えた事で部員同士の結束は更に深まったと感じています。この結束力を今後の青年部活動にも活かして参りたいと考えております。



## 第1ブロック

ブロック長 時枝 宏幸

## 不撓不屈 ～強い意志をもち、困難に挫けない個の集まりに！～

県青連創立50周年の節目に実行委員長の大役を担い活動した平成30年度は、まさに「不撓不屈」の精神で走り抜けた一年間となりました。周年式典を主管した第一ブロックでは、鴨田早苗さん(新座)・富岡聡子さん(戸田)の女性部員によるダブル司会での進行や、「感謝どらやきと茶筒セット」の手土産など、創意工夫をもって取り組みました。ブロック事業としては、新座市主管での野球大会では、予選を勝ち抜いた伊奈町が

関東大会にて優勝。また、朝霞市主管での主張大会では荻野聡くん(伊奈)、其田雅徳くん(新座)両名が最優秀を収めて県大会へ勝ち進み、荻野くんは関ブロ代表に選出され、全国大会の舞台でも素晴らしい主張をしてくれました。また、市ノ瀬委員長を筆頭に交流委員会が企画した部員交流事業ではバブルサッカーなどを通じて、楽しみながら広域交流を図る事ができました。多くの皆様に感謝をお伝えし、新時代【令和】も共に駆け抜けましょう！

## 第2ブロック

ブロック長 斉藤 純一

## 燈燈無尽

今年度2ブロックでは「燈燈無尽」をスローガンに17単会612名にて幹事商工会の毛呂山町を中心に活動してまいりました。年々各事業とも参加者が増えており野球大会、主張大会、チャリティーゴルフ大会とレベルの高い熱戦が印象的でした。参加者の増加にともない各事業とも部員同士の交流が積極的に行われ、特に伊香保温泉にて開催しました正副部長等会議研修会は単会新旧役員を中心に100名を超える参加を頂き懇親会は一言では言い表せないくらいの交流の場となりました。

県青連としては総務委員会を担当し主張大会をフレサ吉見にて開催し、また、県青連50周年事業では第2部記念事業を担当し「フォト川柳大会」、林家たい平氏による「記念講演」を中心に運営しました。共に部員皆様の積極的な協力により大成功を収めることが出来ました。

年度を通して各事業ごとに単会の枠を超えて協力できる体制が整ってきました。これも全単会より役員を派遣頂いた成果だと実感しております。この素晴らしい地区の皆様、2年に渡りブロック運営へのご協力に感謝申し上げます。平成最後のブロック長として素晴らしい経験をさせて頂きました。支えて頂きましたすべての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

## 第3ブロック

ブロック長 山崎 一弘

## 一歩、その先にチャレンジ!!

今年度は埼玉県商工会青年部連合会創立50周年の記念式典があり、歴代の先輩方が繋いできたバトンを、次世代に渡していく記念すべき1年でした。

主張大会では、10名の代表者による素晴らしい主張発表をしていただき、くまがや市の根岸和広さんと西秩父の山崎陽平さんに、3ブロックの代表として県大会に出場していただきました。

今回のファミリーレクリエーション事業は、東秩父青年

部の主管により、140人を超える部員とご家族の方々に参加して頂きました。

全国では豪雨による災害で青年部の仲間が被災した際も、多くの部員から支援金にも御協力いただきました事を心よりお礼申し上げます。

私がここまで頑張れたのも、地区長さんや部長さん、事務局さん部員さん、何より支えてくださった御家族の方々のおかげだと思っています。心より感謝申し上げます。2年間、誠にありがとうございました。

## 第4ブロック

ブロック長 飯島 雄

## 彰往考来 ～未来の4ブロックの為に～

第4ブロック長を4年間務めさせて頂くなか、昨年度同様に、上記の事業方針を掲げ活動させてました。

今年度の4ブロック大会は、幸手市の地に於いて、6月に13単会が一同に集まり、主張大会と研修会を開催しました。主張大会では最優秀賞に羽生市商工会青年部の相澤貴幸君と吉川市商工会青年部の細井知子さん

が選ばれました。

野球大会は、吉川市にて開催し、久喜市商工会青年部が見事優勝しました。選手、応援共に沢山の部員の参加もあり、盛大に開催されました。

4ブロックをはじめ、県内の部員さんのご協力を頂き全ての事業が開催できたこと、感謝の一言で表しては申し訳ない気持ちですが、沢山のご理解ご協力本当にありがとうございました。



## 大きな事業が出来るのは皆様のお陰です！

非営利団体なのに…なんと税金を払っています！地域貢献なのかもしれませんね…

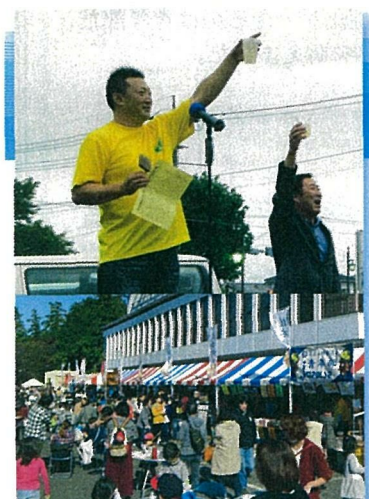
税金を払う様になったのは、商工会青年部主催の花火大会がきっかけです。花火大会へ頂いた、沢山の協賛金や、収入に目をつけられたのでしょう…。

ここまでは、冗談のような本当の話で、鴻巣市

## 第1ブロック

鴻巣市商工会青年部  
部長 島村 伸之

商工会青年部には今挙げた60万人が訪れる花火大会、300名近くの方に参加していただく、チャリティゴルフ大会があります。大きな事業を抱える中で、試行錯誤を繰り返し、自己の研鑽に励み、地域に必要とされる団体である為の努力を日夜続けております。是非とも、他の青年部員の方々、鴻巣市青年部主催の花火大会やチャリティゴルフに一度足を運んでいただければと思います。



## 改革と挑戦！ 自慢出来る街づくり

毛呂山町商工会青年部は、改革・挑戦をスローガンに掲げ取り組んで参りました。

今まで毛呂山町では商工会青年部が主催するイベントはありませんでした。

そこで町の駐車場を借り、部員の飲食店や女性部に来店をお願いし、来場者には地元の飲食店で使えるクーポン券を用意し、『もろやまビアガーデン』を開催したところ、多くの人々で会場が盛り上がり、良い反響を得ることが出来ました。

更に毛呂山町には950年以上伝承される古式流鏝馬祭りがあり同日に行われた『やぶさめ横丁』にも参加しました。

これから町の地域振興・発展、未来の街づくりの中心となるように様々な形で取り組んで行きます。そして子供たちが毛呂山町に誇りを持ち自慢出来るように邁進して参ります。

## 第2ブロック

毛呂山町商工会青年部  
部長 厚目 和久



## 青年部から子供達への 青メッセー

当会青年部では、町内に住む子供達の『記憶に残る』『思い出になる』事を目標として、イベント事業に取り組んでおります。昨年10月には初めてとなるハロウィンキャンドルを実施致しました。

開催までには幾つもの厳しい難題もありましたが、部員一丸となり盛大に開催する事ができました。約2,700個のキャンドルを敷き詰めた会場内は、

多くの子供達の歓声でとても賑わいました。

当会青年部では今後も、「活気ある町づくり」を目標に、様々な事業を展開しながら邁進して参ります。そして何よりも、上里町の将来を担う子供達へのメッセージとして町の魅力を伝えながら、思い出作りのお手伝いを念頭に置き地域振興・貢献に努めて参ります。宜しくお願い申し上げます。

## 第3ブロック

上里町商工会青年部  
部長 相川 崇人



## 笑顔と元気 失敗から学ぶ

幸手市商工会青年部では、「良い事業」を常に部員同士で議論し、積極的な活動を心がけています。

今年度は、青年部員の各事業所の特色を活かした「ものづくり部会」を創設しました。内容は、飲食店を中心にした「グルメパスポートの作製・販売」。カーオーディオを再利用した「リサイクルオーディオの作製・販売」。ものづくり部会の「ロゴ



## 第4ブロック

幸手市商工会青年部  
部長 岩野 義久

の3つです。今年3月には市内事業所と協力してグルメパスポート1,000部を販売する予定です。新しい事業では失敗することもあります。失敗から学ぶことも青年部活動の中で経験できる貴重なものと考えます。今後も、青年部活動によって地域が笑顔と元気になるような事業を目指し尽力して参ります。

# 商工会青年部 資質向上研修会 リーダー会議・指導者育成講習会

平成31年2月24日(日)、朝霞市 朝霞市民会館ゆめぱれす・中ホールにおいて、青年部員115名の参加のもと、平成30年度リーダー会議・指導者育成講習会を開催しました。

冒頭、市川県青連会長が県青連事業について当年度の事業報告を行った後、指導者育成講習会では、中小企業診断士の坂上 成人氏が「今こそ商工会改革の刻～その主役は商工会青年部～」と題して講演を行いました。坂上氏は警察官・個人事業主・中小企業診断士という多岐の経験を持ちながらも、今青年部が直面している『事業承継問題』について熱心に語りました。

その後、リーダー会議では、全国商工会連合会顧問で参議院議員の宮本 周司氏が「今、地域リーダーに必要なこと」と題して講演を行いました。県青連・全青連会長を経験した立場から、青年部活動に意義を見い出さずかけと、地域活性化ができるのは青年部だと強く訴え、さらに改選期を控える部長・次期部長にむけて、リーダー職の重要性と次につなげていく大切さを訴えました。



◀ 県青連事業報告

2年の任期を振り返り、昨年11月に行われた県青連創立50周年記念式典を始めとする県青連事業への御礼と、経営革新の取得件数1位であり、周年記念式典において表彰された寄居町の大木 克徳部長、また主張発表大会で全国出場を成し遂げた伊奈町の荻野 聡氏、並びに湊 洋久部長に対して賛辞の言葉を送りました。



◀ リーダー会議講演会

講師 宮本 周司氏

3年前より当事業の講師を務められ、同じく一昨年より埼玉県青連にて推し進める経営革新計画についての取組における評価に賛辞を送りました。

今年度で、任期を終える部長・役員に向けて御礼を述べ、次期部長に向けてもエールを送りました。



◀ 指導者育成講習会

講師 坂上 成人氏

ご自身の経験から、商工会会員であり若手事業者だからこそ、もっと商工会を活用しよう。事業承継は一人で解決せず、商工会の経営指導員に相談してみようという熱弁しました。

## 県青連スポーツ交流事業

**優勝** ふかや市商工会青年部  
松伏町・庄和商工会青年部

平成31年1月20日(日)、深谷市「深谷フットサルビレッジ」において埼玉県商工会青年部連合会スポーツ交流事業が開催されました。

県内19商工会青年部、総勢250名の部員たちによるフットサル大会が開催されチャンピオンズリーグ(上級者)とチャレンジリーグ(初級者)の2リーグ制を戦いました。

激戦の末、チャンピオンズリーグを制したのはふかや市商工会青年部。チャレンジリーグでは松伏町・庄和商工会青年部のみなさんでした。

県青連が開催するこの交流事業はスポーツを通じて新たな部員間のネットワークと深い絆を築くことを目的としています。

県青連事業  
フットサル

2019

★★チャンピオンリーグ★★

| 優勝 |

ふかや市商工会青年部

| 準優勝 |

三芳町商工会青年部

| 3 位 |

東松山市商工会青年部

A チーム

◆◆チャレンジリーグ◆◆

| 優勝 |

松伏町・庄和商工会青年部

| 準優勝 |

新座市商工会青年部

| 3 位 |

吉見町商工会青年部

## 県青連事業目標「経営革新推進運動」

県青連では、各単会の経営革新の承認件数を、年度あたり3件を目標に推進しています。

### ●経営革新のメリット

#### 1、様々な支援措置を受けることができる。

国や県から「がんばる企業」として公認を受け、様々な支援措置を優先して受けられるようになります。

#### 2、対外信用度、認知度がアップする。

経営革新承認企業であることを積極的に公示することで、他者評価が向上します。

#### 3、中小企業施策を活用する道が開ける。

経営革新計画の承認を得ると、経営革新支援策のみならず、その他の中小企業施策の情報についても敏感になり様々な情報を入手することが可能になります。

#### 4、事業の現状や課題を見極めることができる。

経営革新計画では、3～5年の中長期計画を立案するため、経営目標が明確になり、自社の課題が目に見えるようになります。

#### 5、組織力を向上させることができる。

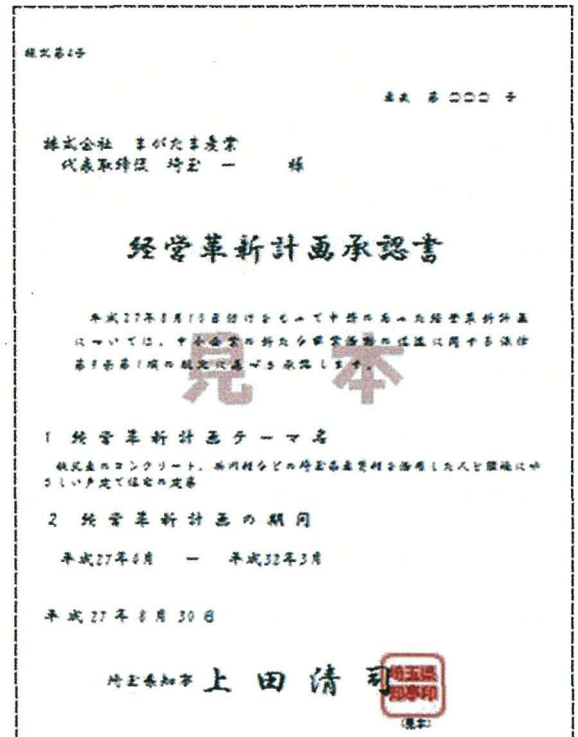
経営者自身が計画を紙面に落とし込むことで、計画が目に見えるものとなるため、経営方針が全社員に浸透し、モチベーションアップにつながります。

#### 6、内外に対する説明資料となる。

経営革新で作成するビジネスプランは、社内・社外の関係者への説明資料となります。ビジネスプラン等を積極的に情報開示していくことで、相手へ事業への理解や協力体制を生み出しやすくなります。

#### 7、経営計画をより磨き上げることができる。

計画の作成及び審査を受ける過程で、自社の計画に対する第三者的な意見を把握することができるため、計画の更なる充実を図ることができます。



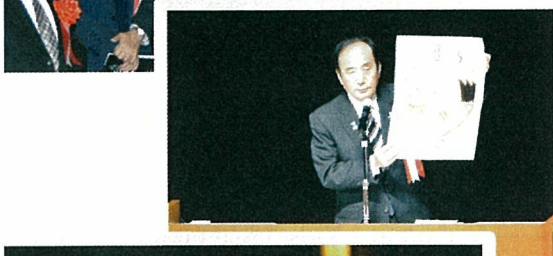
|            |              |                            |
|------------|--------------|----------------------------|
| Point<br>1 | 信用力が<br>向上！  | 金融機関への信用力が向上した。            |
|            |              | 取引先からの信用が増した。              |
| Point<br>2 | 計画経営<br>に転換！ | 計画立案の手法を習得できた。             |
|            |              | 夢の実現に向けた、具体的なスケジュールを作成できた。 |
| Point<br>3 | 知名度が<br>向上！  | 県のHPに掲載されてから、問い合わせが増えた。    |
|            |              | 営業活動の際の話題提供に活用できた。         |

### 「県青連市川会長より、経営革新の平成30年度結果と今後に向けて」

平成27年度より、県青連では経営革新の取得を大きなテーマとして掲げて事業運営を行っております。皆様の努力のお陰で、4カ年448件の、県内青年部員の取得があり、およそ5人に1人が経営革新計画作成に取り組み、事業所の計画経営を実践しています。私たちが目指す活動の両輪は、地域振興と家業発展です。現在のわれわれに求められていることは、自事業の後継者だけでなく、地域経済のリーダーという役割です。地域振興発展を牽引する若手経済人として、まずは経営革新取得から取り組み、この輪を広げていこうじゃありませんか！感謝と共に！

# 50<sup>th</sup> Anniversary

埼玉県商工会青



## ★実行委員長

時枝 宏幸氏 ときえだ ひろゆき(県青連副会長)

- ①全部大変だったけど、苦しかったと感じたことは一つもない。大役をもってこの事業に関わらせてもらえてよかった!
- ②改めて歴史の重さは感じた。自分がまだ生まれてない頃から始まり、今、この組織を次の世代へ渡すことに大きな使命感と責任を感じました。
- ③感謝!先輩、来賓の方々、部員、事務局、そして実行委員のみんなに感謝します。



## ★第3部祝賀会担当

山崎 一弘氏 やまざき かずひろ(県青連副会長)

- ①祝賀会にて、青年部員さんに何を楽しんでもらうか、どうしたら交流できるかで悩みました。
- ②半世紀という長い月日を歴代の先輩方から引き継いできて、県青連創立60年70年、更には100周年に向けて、部員さんたちと共に歩んで開けたらと思います。
- ③大成功で終わり、この事業に関われたこと、そして実行委員をはじめ、一緒に運営をやれたことに感謝します。



## ★記念誌制作担当

飯島 雄氏 いいじま ゆう(県青連副会長)

- ①苦労した事は特にありませんでした。企画・準備・当日と、新しい気づきや学びの場の日々でした。
- ②先輩たちが紡いできたこの50年の節目の年に、副会長としての立場で入れることが何よりの感謝です。
- ③60周年に向けて、更に県青連が発展していくために、努力します!



手部連合会  
sary

# 感謝

題字：中島繁海



## ★第2部記念事業・記念講演担当

齊藤 純一氏 さいとうじゅんいち(県青連副会長)

- ①フォト川柳を立ち上げて募集を開始しましたが当初はほとんど集まらず焦りました。最終的に多くの応募を頂き選考にも苦労しました。また当日は急なスケジュール変更が発生してしまい開始ギリギリまで舞台裏は各調整に追われていました。
- ②創立50周年を日本一の部員数で迎えらるること。ここに至るまでの先輩たちの想いのおおきさを実感しました。
- ③青年部員のパワーはやっぱり凄かったと思いました。大勢の参加者、運営スタッフ埼玉でなければ出来ない創立50周年に携われて本当に良かったです。



## ★式典統括監督

岩沢 純氏 いわさわじゅん(県青連監事)

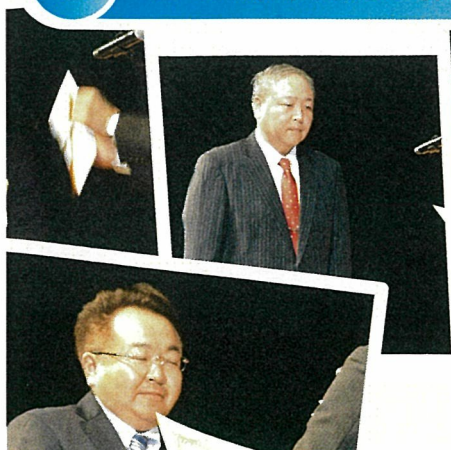
- ①当日、多くの皆様をお迎えし、式典を開催するにあたり、リハーサルの中で関係する部員の皆様にはしっかりとイメージを持ってもらうことに苦心しました。
- ②組織が50年続いてきたことのすばらしさ、過去から今に続く歴史の重みと、先人の方々の積み重ねがあって今があるということ改めて感じました。
- ③当日は多くの皆様にご来場を頂きありがとうございます。改めて御礼申し上げます。  
50周年の節目を迎えましたが、次の50年に向けて、新たな一歩を踏み出したこと



① 50周年記念式典に際して一番苦労したことは

② 県青連50周年に思うことは

③ 50周年記念式典を終えて一言



## 青年部福祉募金運動

埼玉県内の商工会青年部・女性部では、毎年、福祉活動の一環として募金活動を行い、埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金等に寄付しています。

そして、平成31年2月12日に県庁知事応接室で「シラコバト基金」への募金贈呈式が行われました。

今回で37回目を数える募金贈呈は今年度も県女性部連合会と共同で行われ、上田知事で出席のもと、県青年部連合会より募金25万円を贈呈し、感謝状を頂きました。

平成30年度までのシラコバト基金への青年部寄付金額は15,076,233円になります。

また、県女性連と共に昭和57年より始めた募金活動の総額は、平成30年度までの間で総額25,156,618円になります。青年部では今後も「社会一般の福祉の増進に努める」ため、社会貢献活動に力を入れていく所存です。皆様の御協力を宜しくお願い致します。

平成30年度に県の募金会計より拠出した金額は以下のとおりです。

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| ■シラコバト長寿社会福祉基金への募金 | 250,000 円 |
| ■全青連100円玉募金        | 216,900 円 |



昭和52年、埼玉県は“だれもが幸せに暮らせる地域づくり”を目的に「シラコバト福祉基金」を設置しました。

この基金は、県の出資金のほか、みなさまからの寄附金により育てられ、平成3年にはこれからの高齢社会に備えるため、「シラコバト長寿社会福祉基金」に発展しました。

その運用益は、民間の保健福祉活動を支援する大きな財源となり、暖かいふれあいを地域社会に広げるために活用されています。



# 平成 30 年度 広報コンクール

最優秀賞 おめでとう！  
八潮市商工会青年部 9 連覇 ★★★★★

最優秀賞を受賞した外部広報誌  
「かわら版 TRY」は右記 QR コード  
公式 HP からチェックできます！



2月24日（日）朝霞市 朝霞市民会館・中ホールにて表彰式が開催されました。各賞につきましては、審査会にて厳選なる審査により選ばれました。

|                |                    |
|----------------|--------------------|
| 【 最 優 秀 賞 】    | 八潮市                |
| 【 広報誌部門 優秀賞 】  | 朝霞市<br>富士見市<br>久喜市 |
| 【 広報活動部門 優秀賞 】 | 新座市<br>小川町<br>吉川市  |
| 【 特 別 賞 】      | 東松山市<br>長瀬町<br>三郷市 |



## 編集後記

「躍動」を発行するにあたり、ご寄稿いただいた記事を通して青年部活動への想いを乗せ紙面に力を与えていただいた皆様、紙面づくりにご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

本年度も皆様のご期待に応え、オールカラー版にて発行させていただきました。カラフルな紙面でお楽しみ頂けましたでしょうか。本年度11月、県青連創立50周年記念式典を開催し、多くの青年部員様と来賓の方々にご参加頂きました。節目の年に青年部皆様の一体感を再確認しました。

来年度も、皆様のたいなるご活躍とご発展をお祈りするとともに、この広報誌「躍動」が皆様の青年部活動に対しまして、一助になることを祈念しております。2年間有難うございました。

広報委員長 山崎 一弘

国内旅行

赤い風船

MACH Best Excellent Best

海外旅行

MACH Best Excellent Best

グループ・団体での旅行を考えている方  
必見の「お役立ち情報」を提供!

日本旅行が企画・見積から出発まで、  
しっかりサポートします。



赤い風船

団体旅行お見積り無料です!

- 視察/研修旅行・会議/式典など
- 親睦旅行・インセンティブ旅行など
- 国内海外出張手配(航空券・宿泊・バス・JR) など  
(赤い風船5%・マッハ5%・ベスト3%引き)



株式会社日本旅行 埼玉支店

〒330-0802 さいたま市大宮区宮町4-129大栄ツインビルN館5階

電話: (048) 648-111 (代)

FAX: (048) 648-6455

E-Mail: saitama\_office3@nta.co.jp 担当: 大塚・白川・村田

Home Page: <http://www.uta.co.jp/shop/shoplist/4415/>

発行日: 平成31年3月31日  
編集: 県青連広報委員会

発行: 埼玉県商工会青年部連合会  
会長 市川剛士

IMPULSE